

各位

ENEOS株式会社

スカイマーク向けに持続可能な航空燃料（SAF）を供給開始

当社（社長：山口 敦治、以下「ENEOS」）は、スカイマーク株式会社（社長：本橋 学、以下「スカイマーク」）と日本における持続可能な航空燃料（Sustainable Aviation Fuel、以下「SAF」）の売買に関する契約を締結しましたので、お知らせいたします。

ENEOSは、航空業界へのSAFを含めたエネルギーの安定供給を目指しており、この度スカイマークへSAFを供給することで、航空業界が掲げるCO₂排出量実質ゼロの目標達成を支援します。なお、スカイマークは、2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにすることを目指しており、2030年には「航空燃料使用量のうち、10%をSAFに置き換える」という目標を掲げています。同社にとって、今回が初めてのSAFの調達であり、目標達成に向けた重要なマイルストーンとなります。

ENEOSは、グループの長期ビジョンにおいて、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」の両立に向け挑戦することを掲げています。航空業界の脱炭素化を加速するためには国産SAFの普及促進が重要であり、ENEOSはSAFの原料調達から自社製造および販売に至るまでの一貫体制の構築を進めています。



スカイマーク社 ボーイング 737-800 型機

以上